

小寺記念精神分析研究財団主催／2014年度

「臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー」

産業メンタルヘルスに関わる専門家への、社会の要請はいや増すばかりです。当財団ではこうした要請に応えるべく、産業メンタルヘルスに関わる専門家の養成に寄与することを目的に2012年度から「臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー」を開講しており、2014年度も開催いたします。

このセミナーは精神分析的あるいは精神力動的な視点に基づいていますが、必ずしも精神分析的な基礎知識は必要としません。また、大学院生や若手の臨床家も含め幅広い方々を対象に考えております。以下の概要に加え、セミナー要旨および年間予定をご参照いただき、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

1. 対象者および募集人数

- ・ 対象者：臨床心理士（職種を指します。日本心理士資格は問いません）
- ・ 募集人数：20名

2. 講師

白波瀬丈一郎（慶應義塾大学）、松山公一（富士通）、秋山義之（日立製作所）、乾吉佑（専修大学）、辻廣享子（企業内健康管理組織看護師）、森晃爾（産業医科大学）、三柴丈典（近畿大学）（敬称略、出講順）

3. 内容

本セミナーでは、産業メンタルヘルスに関する総論的知識と、各論的技能の獲得を目的にしています。その目標達成のために、講義と事例検討の二本立ての構成になっています。講義では、多職種の講師がさまざまな視点から産業メンタルヘルスの実践についてお話しします。後半の事例検討では、受講者に事例を提示していただき事例検討を行います。事例は産業領域のものには限りません。詳細は「年間予定」を参照下さい。

4. 期間

2014年6月から2015年3月まで月1回、全10回。

5. 日時

原則毎月第4日曜日。11月と1月は第3日曜日
午後1時から5時半まで

6. 場所

慶應義塾大学ストレス研究センター
（信濃町煉瓦館4階：JR総武線各駅停車 信濃町駅 徒歩1分）
東京都新宿区信濃町35

7. 参加費

80,000円（大学院生の方は、60,000円）
（参加決定を通知後、お振り込みいただきます）

【セミナー要旨】

本セミナーの企画者である白波瀬は、2009年から精神力動的な考え方に基づいた内部EAP型の新たなメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ）をある企業と共同開発中です。その活動の中で明らかになってきたのは、産業メンタルヘルスの臨床は優れて実践的かつ治療的（あるいは成長促進的）であるということです。それだけにそこで働く臨床家には、高い臨床能力と柔軟なコミュニケーション能力、および全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚が求められます。たとえば、メンタルヘルス不調に陥った労働者（以下「不調者」と呼びます）の精神症状を単に評価するだけでは不十分です。彼ら一人一人を一つの統一体として捉え、今後も働き続けていくために、活用できる彼らの能力を見立てると共に、彼らが取り組むべき課題を同定する必要があります。

加えて、不調者が所属する職場およびその企業における、「支援する能力」を見立てることも重要です。というのは、不調者自身に対していくらか適切な支援プランを立てたとしても、それを実行するだけの「支援する能力」が職場や企業になれば、そのプランは単なる机上の空論にしかならないからです。「支援する能力」をより具体的に表現すれば、それは人事担当者や職場管理監督者など不調者を取り巻く人々がメンタルヘルスに対してどのような理解を持ち、臨床家と協働してどの程度の支援を実行できる力があるかということになります。こうした「支援する能力」を事例毎に見立てて、不調者にとって適切であると同時に、不調者を取り巻く人々にとっても実行可能な支援プランを作成しなくてはなりません。さらに、不調者やその周囲の人々が主体的に参加できるように、支援プランの内容とその意図をわかりやすく説明し伝えることのできる柔軟なコミュニケーション能力もまた臨床家には求められます。

そして、何よりも産業メンタルヘルス活動を実践する臨床家に求められるのは、不調者と企業のどちらにも偏ることなく、両者の利益を最大限に実現するための、全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚です。

セミナーは月1回第4日曜日（原則）の13時～17時半に開講します。前半2時間は講義を行い、30分の休憩を挟んで後半2時間は事例検討を行います。講義では、産業メンタルヘルス領域に携わる、臨床心理士、産業保健スタッフ、人事担当者、法学者などの先生方を講師に迎え、産業メンタルヘルスとはどのような世界であるかを学びます。事例検討では受講者に交代で事例を提出していただき、事例検討を行います。白波瀬がKEAPの実践経験に基づいたスーパービジョンを行います。加えて、KEAPのメンバーである臨床心理士がファシリテーターとして参加いたします。

【年間予定】 講義 13時～15時、事例検討 15時半～17時半

- 第1回 2014年6月22日
「KEAP（キープ：KEIO Employee Assistance Program）について」
講師：白波瀬 丈一郎、三浦 有紀
- 第2回 2014年7月27日
「わが国の産業精神保健の歴史：KEAPの基礎をなすもの」
講師：白波瀬 丈一郎
- 第3回 2014年8月24日
「産業メンタルヘルス領域における、臨床心理士とは その1（仮題）」
講師：松山 公一 先生
- 第4回 2014年9月28日
「産業医からみた、産業メンタルヘルスの実践とは その1（仮題）」
講師：秋山 義之 先生
- 第5回 2014年10月26日
「産業メンタルヘルス領域における、臨床心理士とは その2（仮題）」
講師：乾 吉佑 先生
- 第6回 2014年11月16日
「産業看護スタッフからみた、産業メンタルヘルスの実践とは（仮題）」
講師：辻廣 享子 先生
- 第7回 2014年12月28日
「産業医からみた、産業メンタルヘルスの実践とは その2（仮題）」
講師：森 晃爾 先生
- 第8回 2015年1月18日
「人事担当者からみた、産業メンタルヘルスの実践とは（仮題）」
講師：未定
- 第9回 2015年2月22日
「産業メンタルヘルスと法～現場課題への法的処方箋」
講師：三柴 丈典 先生
- 第10回 2015年3月22日
「まとめ」
講師：白波瀬 丈一郎

セミナーの後半では毎回事例検討を行う予定です。ただし第1回は、KEAPの臨床心理士による事例提示も含めつつ、KEAPについての講義を通して行います。第2回以降は皆さまに事例を提示いただけることをお願いいたします。事例は、産業領域のものに限定しません。スクールカウンセリングのように組織との連携が必要となる事例でも結構ですし、個人心理療法の事例にも対応いたします。さまざまな事例を通して、KEAPの考え方や介入について体験的に学んでいただくことが目的です。